

事業者からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 6 年 4 月 10 日

事業所名

ヒミツキチ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境 ・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		2	5	定員いっぱいの際は十分なスペースを確保できないと感じる もう少しスペースが広がると、活動も広がると感じる	このまま継続する
	2	職員の配置数は適切である	7				子ども達が安全に利用できる職員配置の継続
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4	2	排泄スペースで匂いなど気になる点あり トイレに手すりなどが欲しい ドアがやや重い	トイレに手すり等、環境に応じた福祉用具の導入、もしくは環境調整
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7			スタッフで話し合う時間を設けている 話題が拳がしやすい雰囲気が出来ている	決めた目標を振り返り、多職種で再考する
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				保護者会などを利用し、保護者の意見を聞く機会を設ける
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7				このまま継続する
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1	1		他事業所との関りを大事にし、意見をもらう
適切な支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			リハ勉強会、ぶれいふる、カンファレンス	このまま継続する
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			ミーティング、カンファレンス	多職種での話し合いを継続し、計画書の作成を実施する
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		2	使用しているがもう少し改善が必要	共通したツールを利用し評価する
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			活動チームでイベントを計画している	このまま継続する
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			季節に合わせた制作活動	このまま継続する
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1		長期休みには、平日できない活動やケアを実施するようにしている 個々の対応に関しては変わらない所もある	とくに休日の活動を充実させたい
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7				このまま継続する
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		2	ミーティングの定期実施 意識するようにしている	ミーティングを継続し、安心安全なご利用を徹底保護者や学校との連携を密に実施する
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	1	その日のうちにslackやカンファレンスにて共有している 課題確認に至らないこともある	カンファレンスやミーティングを継続
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		1	個人別の記録をつけている	リハ職視点での目標設定、振り返り
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7				決まった時期に計画の見直しを行う	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6		1		このまま継続する	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7				このまま継続し、進んで参加する
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6		1	送迎時に先生との情報共有を大切にしている 学校見学に行っている	必要であれば学校へ向向き、見学の機会を得る送迎時の情報共有を継続する
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6		1	他施設との連携（TEL、Fax）	このまま継続する
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	2		今後そういった機会がある場合、連携できるよう努める

	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2	3	経験としてない卒業を見越して進める必要がある	必要に応じて実施する
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		2		研修がある際は進んで参加する
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7			保育園が併設している	ジャングルラボとの交流を継続する
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	1		月1回の長田こども部会	このまま継続して参加する
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			計画書、連絡ノート	計画書以外にも、日常の会話で共通理解を得られるようお伝えしている
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	5	2		診察時に確認して欲しいことなどはnsより助言している	連絡帳やGooglephoto、直接お話しすることで支援を継続して行う
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7				保護者会の実施ぶれいふるのイベントの宣伝
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7				このまま継続する
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1	4	感染予防のためそのような場を設けられていなかった	新規事業の立ち上げと共に検討する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7				このまま継続する
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			Instagram、Facebook、 PLASTのHP googlephoto	個別性に合わせた支援を検討する
	35	個人情報に十分注意している	7			契約時に確認している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			サインや視覚的なものを利用している	ぶれいふるのイベントや久遠のイベントを宣伝していく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	1		ぶれいふる	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2	1	実施中	マニュアルの整理、周知の徹底
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			月1回避難訓練実施	このまま継続する
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7				このまま継続する
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	1	危険行為があった際は行動を止めることがあると認識している	必要に応じて対応する
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	2	指示書はもらっていない 食事の提供はない	食事の提供はないが、必要に応じて対応する
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	2		事例集があるのかわからない	事例集を共有する